

福島第一原子力発電所 使用済燃料共用プール建屋 天井クレーンにおける車軸連結部ケーシングの割れの確認について（調査結果）

< 参考資料 >
平成 23 年 12 月 23 日
東京電力株式会社

【破損に至った原因】

ギヤークップリングにつながる車輪はレールの肩に接しているため、地震の際に車輪がレール上を横にすべったと思われる。

車輪がレールの肩に引っかかった際、カップリングカバーが歯車に衝突して、衝撃的な荷重がかかりカップリングカバーにひびが入ったものと推定する。

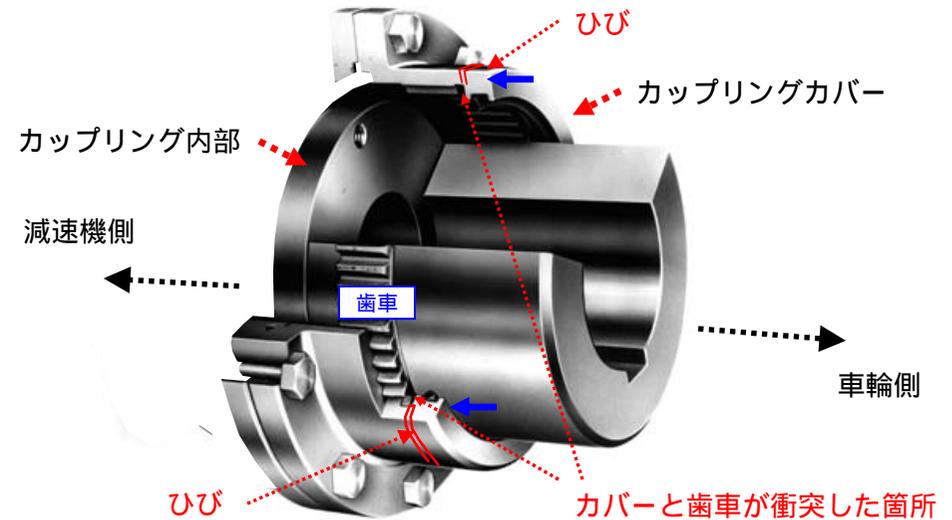
【機能への影響】

ギヤークップリングはクレーンの自重を支える部品ではないため、カップリングカバーが損傷してもクレーンが落下する可能性はなく、仮に燃料を吊っていても燃料が落下する可能性もない。

また、走行原動部の点検を行い問題ないことを確認するとともに、走行試験を行い問題ないことを確認した。

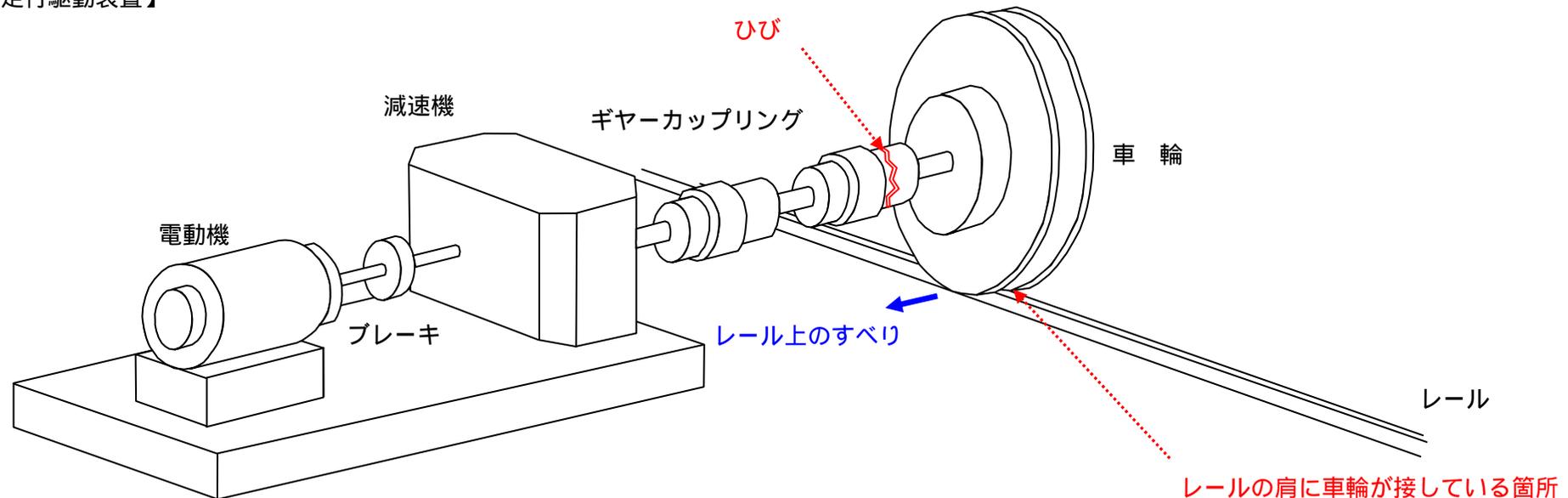
【今後の対応】

新規ギヤークップリングを手配中であり、到着次第取替を行う。



【ギヤークップリング内部構造】

【走行駆動装置】



ギヤークラップリング損傷箇所の破面状況

【損傷部写真】



歯車の衝突痕が最も著しい部位